



令和 4 年 9 月 27 日 (火) 例会 (第2849回) 報告 (雨) No.2677

出席率 …… 29/37 78.38% 第2847回補正出席率 …… 35/38 92.11% コロナ対策例会

欠席者 屬、島谷、津田、友森、浜田(一)、堀田、村山、渡邊(冬)

メイクアップ(企業見学) 18名 (5RCゴルフ) 16名
(米子東RC) 松井 (周年記念誌委) 8名

出席免除 足立、岡空、酒井(英)、藤瀬、増谷、渡辺(昇)

◆会長時間 三輪昌輝 会長

50年を超えて存続する企業は、統計的には0.7%だそうです。5年で15%、10年で5%、30年で2%、100年では0.03%になり、鳥取県で100年以上歴史のある企業は229社あるそうです。明治後期に起業されたところが多く、江戸での起業の第1位は、清酒製造業、明治前半では、旅館・ホテル業、明治後期では、内装工事業と石工品製造業だそうで、気になるのが、千代むすび酒造さん(157年)と、美保館さん(114年)、中田石材工作所さん(120年)です。身近なところに100年企業があると知り、是非、その歴史と存続の家訓など卓話頂くと面白いのではと思った次第です。

◆バスト会長時間 北國恵久 バスト会長(2014-15年度)

42才で入会して25年経ちました。その間に2~3回増強委員長を経験しましたが、ロータリーには表立って分かりやすい入会の利点がないことを勧誘の時にはいつも感じました。ただ、本業が継続して初めてロータリーの活動も続けられるので、今まで自分が在籍し続けられたことが、一番良かったと思います。



◆幹事報告 赫 太郎 幹事

◎友末G事務所より「地区大会案内」「第51回R研究会案内」
◎佐藤RI理事より「エンドポリオ・サイクリング・チャレンジへの支援願い」 ◎5RCゴルフ…ポリオ募金額90,500円 ◎笠岡東RCより「創立35周年記念誌」 ◎商工女性会より「第10回チャリティーゴルフ案内」 ◎10月例会は新しい水産市場(境港おさかなパーク) 2階で実施

9月創立記念日祝い

1日 三輪昌輝
11日 酒井 英
21日 黒田 耕 各会員



三輪会長

黒田会員

◆例会変更

☆米子東RC 10/5(水) 休会(定款7条) ビジター受付無
☆米子中央RC 10/13(木) 休会(定款7条) ビジター受付無

◆10月行事予定(経済と地域社会の発展/米山月間)

10/16(日) 世界ポリオデーイベント
18(火) 休会(定款7条)

— スマイルBOX —

◎創立祝 黒田、三輪 【松本協一様をお迎えして】木村、小林、瀬戸、谷田、中村、山崎、鷺澤 ○よろしくお願ひします 定秀 ○卓話、楽しみです。 赫、中木 【5RCゴルフ】○無事終了。皆様ありがとうございました。 黒田 ○お疲れさまでした 庄司、高瀬 ○赫副会長、鷺澤さん、受付ご苦労さまでした! 小坂 ◎バスト会長の番が回ってきました 北國 ◎涼しくなりました 松本(正) ◎スマイルに協力 喜多村、酒井(博)、中田、浜田(貴)

30(日) 近郊日帰り家族旅行(大山周辺)

◆委員会報告

◎職業奉仕委員会…高瀬裕章 委員長

9/21「企業見学」、18社に受け入れ協力頂き、ありがとうございました。境三中側も大変喜んでおられました。活動についてのアンケートを配布しますのでご協力をお願いします。

◎ゴルフ同好会…黒田 耕 会長

9/23「5RCゴルフ」当クラブの主管で無事開催できました。準備・運営・受付など、皆様のご協力ありがとうございました。

— プログラム — 「自由奔放な経営を!」

~山陰での起業ストーリー。或いは日本の”不自由”について~

ココリト大根島 代表 松本協一 氏

本日の卓話タイトルに選びました「自由奔放」は、経営学を学んでいた頃読んだトムピーターズの「自由奔放の(リベラシオン) マネジメント」という本から取りました。日本の経営、或いは社会には、自由が全く足りず、これが今日の停滞の基底にあるという認識です。リベラシオンは本来、「解放」という意味ですが、20世紀の官僚制的な組織運営から、21世紀は個人の創造性を解放してあげる方向へと進む、というのが上記著作や当時の経営学者が発していたメッセージです。この点において、日本は世界から遅れをとっており、結果この30年間、日本だけGDPや平均賃金が伸びていない。



日本人の賃金を上げるには、既得権益を打破して規制緩和を行い、民間企業一人当たりの付加価値を上げることが重要で、そのためには既得権益産業から労働者を解放し、成長産業に移さなければなりません。日本では雇用を守る経営者が偉いと信じられていますが、海外では考え方が異なり、経営者はお客さんにご忠誠を誓わないといけない。事業が無くなった場合、海外では労働者を辞めさせるが、日本では配置転換や左遷などで雇用を守るため、結果非効率な経営になってしまう。起業を推進し、現在の終身雇用や定年制、正社員等差別的な慣習を見直さないと、再度日本が成長していくことは出来ないと思っています。

労働慣習の他にも、産業政策や統治機構の分権化など見直しが必要な事項はたくさんありますが、一例として、教育を取り上げると、まず先生側の改革が必要でしょう。他の国では先生側の競争が激しく、常に成果を出せる先生が入れ替わり入ってくる。自由ということは、常にお客さん(教育であれば、学生)がベストを選べる状態にすることで、我々はこの自由の意味を改めて引き受ける必要があると考えています。

今回(10月4日) 71回分写仏

「地区大会報告」

内田幸二 会員、三輪昌輝 会長

次回(10月11日) 72回分写仏

「海外の人の目線で考える地域の魅力とポテンシャル」

YONAGOOD 代表 ツァイドラー・オットー 氏